

団体基本情報

団体名	凸凹キッズ
活動分野	子どもの健全育成/保健・医療・福祉/社会教育
活動目的	きょうだい児、非定型発達児への安心・安全な遊び場の提供。 母親への心理的ケア。非定型発達児とその家族と触れ合う学生ボランティアへのキャリア支援。
活動内容	非定型発達児ときょうだい児が普段は難しい体験（川遊び、花火、BBQ、海水浴、野外キャンプの遊び）を実現する。学生ボランティアの力を借り、家族が安心して楽しめる、あたたかい見守りの目を補う。
所 在	-
電話番号	-
メール	decokyoudaisan0512@gmail.com
代表者	須藤 奈奈
会員数	3人
設立年	2024年
野々市市市民活動センター登録日	2024年6月18日
活動日	月1回（第3日曜日※日程変更あり）
会費	無
連絡先	担当者
	住 所
	電話番号
	メール

【障害児世帯、学生、支援者に生じた変化】

- ① 非定型発達児：自閉症児の1人は、海でのスイカ割りには参加しなかったが、自宅で「スイカ！」と口にした母を驚かせた。言葉では表出来ない知的障害児のこころに、楽しい思い出として深く刻まれた事が挙げられた。
- ② きょうだい児：ヤングケアラー化が懸念されるきょうだい児にも大きな変化が見られた。年の近い大学生からたっぷりと愛情を注がれ、満面の笑みを見せてくれた。
- ③ 母親：当初不安を表していた母は、海では水着を着て我が子と海に飛び込み笑顔を見させてくれた。児の母親の育児における自己効力感は支えによって回復し、「何か出来る事はありますか？」と他者に配慮する様子がみられた。
- ④ 学生：最初は視線の合わない自閉症児に戸惑うも、支援を必要とする障がい児の母に关心を寄せた。自身が生きている社会に、支えを必要とする人々がいる事を知り、あたたかい関心が寄せられた。
- ⑤ 運営スタッフ：1月の活動が無い事での喪失感の訴えがあった。支える事で支えられる、福祉の構造を運営スタッフ自らが体験をもって知った事例である。

活動実績

【北陸きょうだい会との共同企画の実現】

きょうだい児の研究を行う北陸学院大学教育学部 幼児教育学科 松本理沙准教授ときょうだい児の支援に対する思いを分かち合い、2025年3月1日に北陸きょうだい会スタッフ、凸凹キッズ運営スタッフとの共同企画が実現した。



2024年6月23日あめるんパーク金沢



2024年8月4日徳光海岸海水浴

はるまつり
北陸きょうだい会&凸凹キッズ
～障害や病気のある子どものきょうだいのイベント～

日時 2025年3月1日（土）10時～12時
場所 学びの杜のいちカレード（図書館）音楽スタジオ
📍 石川県野々市市太平寺4丁目156 ※駐車場有
対象 障害や病気のある子どものきょうだい（だいたい小学生）
と保護者の方 10組程度

※事前にお申込みが必要です

【お問い合わせ先】
北陸きょうだい会
hokuriku_kyodai@gmail.com

【お申込みはこちら】

QRコード

きょうだいが主になり、仲間と出会うイベントです。
みんなでゲームをしたり、
工作をしたりします。
皆さんに楽しんでもらえるように、お祭りのような
イベントになるように準備してお待ちしています。

～北陸きょうだい会～
富山・石川・福井の北陸3県を拠点に活動する障害児者のきょうだいの
ピアサポートグループです。きょうだい同士でお話できるカフェや講演会などイベントを開催しています。

～凸凹キッズ～
障がいのある子とそのきょうだい、親のためのサークルです。野々市・白山市を中心月に1回大学生ボランティアさんと遊びのイベントを開催しています。
deokyoudaisan0512@gmail.com

※当イベントは、第14回コープいしかわ地域活動助成金を受けて実現しています。後援：野々市市

2025年3月1日北陸きょうだい会×凸凹キッズ

凸凹キッズ



知的障がい・発達障がい
そのきょうだい・お母さん・お父さん
のためのサークルです！



このような悩みを抱えるご家族さんと
保健師さんや大学生ボランティアさんたちと一緒に
サークル活動をしませんか？

日程	毎月日曜日 (日程が前後する場合あり)
時間	10:30～13:00

【お世話役】
平山 登志子（平山健康計画 公認心理師・保健師）
須藤 奈奈（保健師）

堀田 真弓（金城大学公衆衛生看護学専攻科 助教）
大学生ボランティア（保健医療福祉系）



【連絡先】
decokyoudaisan0512@gmail.com

お気軽にご連絡ください♪